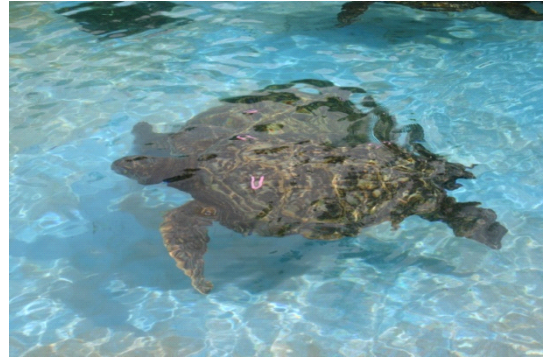


シーライフ・パークのカメ

時まさにNHK連続テレビ小説「ウェルカム」の放送真っ最中であった。徳島県のとある海岸はウミガメの産卵地として貴重な場所。ウミガメの生態調査のストーリーに人間模様がオーバーラップし、楽しいドラマになっている。それを見るのが私にとって大切な日課となっている。

オアフ島の南東部にあるシーライフ・パーク(水族園)。南国ハワイの美しい海と切り立った山々に挟まれ、園内には様々な海洋動物が我々を迎えてくれる。ハワイに生息する「ハワイ・アオウミガメ」の水槽では、タッチできる至近距離から見学ができた。悠々と泳ぐ姿は何も悩みのない、幸せなカメのように羨ましく見えた。最近このウミガメを食料とする太平洋の島民のドキュメントをテレビで見たことがある。グロテスクな料理の仕方であるが、みんな美味しそうに食べている姿を記憶している。私も一度食べてみたいと希望するが夢は叶うだろうか。



園内の呼び物は何と言っても利口なイルカショーである。まるで人間の言葉が分かるような意思疎通ができるのだ。ここではただ見るだけのショーから、触れ合いを可能にする教習も行われている。イルカの体にタッチができキスもしてくれる。更に背びれにつかまって一緒に泳いでくれる。そして足の裏をプッシュされながら水面を進むなど、様々な形でイルカと接触ができる。その他には定番のアシカの曲芸、可愛いペンギンの行進、珍しいエイとの触れ合い等々。

帰りのバスに乗り込む前にアイスクリームを購入。それもラージサイズ(想像を超える大きさ)。ところがバスは持ち込み禁止。数回舐めただけで合えなく放棄。残念！ 撮影 2010年冬

